

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 9 月 10 日作成 第 1 版

研究課題名	膀胱腫瘍に対する腹腔鏡下膀胱全摘術とロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術の有用性と安全性に関する検討
研究の対象	2008 年 4 月 6 日から 2020 年 9 月 10 日までに横浜市立大学附属病院で膀胱腫瘍に対して腹腔鏡下膀胱全摘またはロボット支援下腹腔鏡下膀胱全摘術を施行した患者さん。
研究目的 ・方法	膀胱腫瘍に対する根治的膀胱全摘術において、低侵襲性を求めて、近年では腹腔鏡下膀胱全摘（LRC）とロボット支援下腹腔鏡下膀胱全摘（RARC）が行われています。また、その尿路変向術では、体腔内尿路変向術（ICUD）と体腔外尿路変向術（ECUD）が選択可能です。ICUD は腸管処理を完全に体腔内で行うため、理論的には低侵襲で施行できるとされていますが、ICUD と ECUD の治療成績を比較した報告はあまりありません。当院では基本的には RARC では ICUD、LRC では ECUD を採用していますが、これらの有用性と安全性を検討することにより、将来治療選択の最適化や合併症予防法の開発に貢献できる可能性があります。
研究期間	西暦 2020 年 11 月 10 日（許可日） ～ 西暦 2025 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<p>上記期間に当該手術を受けられた患者を対象とし、後方視的に下記の日常診療で実施された項目を研究に使用します。</p> <p>患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、臨床病期、入院期間）、血液検査、手術内容、病理学的所見、術後合併症、有害事象など。</p> <p>研究対象者の氏名等特定の個人を識別することができる情報を使用しない等、研究対象者の個人情報の保護について十分に配慮します。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 泌尿器科（研究責任者）榎山 和秀（研究分担者）鈴木 敦人</p> <p>電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-5775</p>	